

年 間 授 業 計 画

1 科目名	現代社会	2 履修学年	3学年
3 必修・選択	必修	4 履修単位	2単位
5 教科書	高等学校改訂版 新現代社会(第一学習社)		
6 副教材等			
7 学習目標	人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を学ぶ。		
8 年間授業計画			
月	学 習 単 元	学 習 事 項 等	
4	現代社会と人間としてのあり方 現代の民主政治と政治参加の意義	1. 青年期と自己形成 2. 個人の尊重と法の支配 1. 日本国憲法の基本原理 2. 平和主義と日本の安全保障	
5	現代の民主政治と政治参加の 意義	3. 冷戦終結後の防衛問題 4. 平等に生きる権利 5. 自由に生きる権利 6. 豊かに生きる権利 7. 新しい人権	
6	現代の民主政治と政治参加の 意義	8. 基本的人権と公共の福祉 9. 国会の運営と権限 10. 内閣と行政の民主化 11. 裁判所と人権保障 12. 地方自治と住民福祉	
7	現代の民主政治と政治参加の 意義	13. 選挙制度の現状と課題 14. 世論の形成と政治参加	
9	現代の経済社会と私たちの生活	1. 経済と私たちの生活 2. 経済体制の変容 3. 現代の企業 4. 市場のしくみ 5. 国民所得と私たちの生活	
10	現代の経済社会と私たちの生活	6. 景気変動と物価の動き 7. 財政のしくみと税金 8. 日本の財政の課題 9. 金融機関のはたらき	
11	現代の経済社会と私たちの生活	10. 戦後日本経済のあゆみ 11. 技術革新の進展と産業構造 の変化 12. 中小企業の現状と役割 13. 食の安全とこれ からの日本の農業	
12	現代の経済社会と私たちの生活	14. 雇用と労働問題 15. 労働環境の整備 16. 公害の防止から環境保全へ 17. 消費者主権と社会保 障	
1	国際政治と国際経済	1. 国際政治の動向と私たちにできること 2. 国際経済の動向と私たちにできること	
2			
3			
9 評価の観点・方法			
定期試験とレポート提出などの平常点を総合的に勘案して評価を行う。			
10 学習上の留意点			
単なる知識の獲得に留まらないように、生徒の身近な問題等をあげて、生徒の興味、関心を引き出すように心がけ、常に発問を行うように留意する。			